

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	伝統的文化の保存と継承	施策No	09-03	部課名	教育委員会事務局社会教育課
関連部課名					
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]			
	政策	伝統文化の継承と都市間交流の推進[09]			

目的	区内に伝わる有形・無形の文化財を保存し、地域において継承していく基盤を整備すると共に、郷土の歴史、地域について学ぶ機会を提供することにより、荒川区の教育、文化の発展に寄与することを目的とする。
-----------	--

指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)	
	荒川ふるさと文化館利用者数	21,748	22,138	20,451	24,000	25,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者
	荒川ふるさと文化館企画展示室稼働率	65.0	62.7	69.7	75.0	80.0	企画展示室開館日数 / 文化館開館日数
	伝統技術展入場者数	12,000	18,000	17,000	18,000	21,000	
	文化財登録件数（総数）	5 (238)	5 (243)	7 (250)	7 (257)	5 (297)	

現状と課題（指標分析）	<p>荒川ふるさと文化館は、荒川区の歴史や文化について、児童・生徒を始め、多くの区民に正しく伝え、郷土に対する誇りと愛着を持ってもらうために必要不可欠である。荒川区の歴史や文化についてより深く理解してもらうために、企画展示等の事業について検討する必要がある。</p> <p>江戸時代から受け継がれてきた区内の伝統工芸技術について、保存継承し、広く区民に紹介していくことは重要であるが、後継者が不在の職人もいる。</p> <p>区内には、区の歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多く、これを保護し次代に伝えていく必要があるが、建造物や近代遺跡については実態を把握できていない。</p>
--------------------	--

今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>大規模博物館にはない地域の郷土資料館ならではの特性を生かした企画展を開催し、区の魅力を発信していく。</p> <p>子どもたちが伝統工芸技術に触れる機会を多く設け、伝統工芸に興味を持つ動機付けとする。団塊世代向け講座など、生涯学習として団塊世代が伝統工芸技術に触れる機会を提供する。</p> <p>文化財保護推進員に区内史跡・文化財調査を依頼し情報提供を促すほか、荒川史談会等関係団体から情報提供を受け実態把握に努めていく。</p>
---------------	--

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、継続して実施する。

施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
荒川ふるさと文化館管理 運営費	12-04-31	45,737	46,284	継続	継続	郷土の歴史や文化に親しむ施設 を運営するため、必要である。
荒川ふるさと文化館事業 推進費	12-04-32	6,921	8,077	推進	継続	郷土の歴史や文化に親しむ講座 や展示等を提供する事業とし て、優先度が高い。
奥の細道矢立初めの地 子ども俳句相撲大会	12-04-33	-	912	-	推進	俳句という伝統文化を通じて言 語活動の充実を図るとともに、 奥の細道旅立ちの地を区内外に 発信する。
文化財保護奨励	12-04-34	7,994	7,147	推進	推進	区の有形・無形文化財を次代に 伝えるため、必要性が高い。
橋本左内墓套堂復元整備 事業	12-04-35	-	300	継続	推進	移設場所が確定したため、年度 内の復元完了を目指す。
江戸伝統技術	12-04-36	15,438	18,353	推進	推進	区の伝統工芸技術について理解 を深めるため、必要性が高い。
千住大橋鉄橋架橋80周 年記念事業	12-04-38	-	1,240	継続	見直し	19年度のみの実施事業である。
合 計		76,090	82,313			